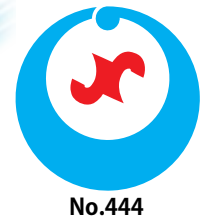


浜田会議所だより

Hamada Chamber of Commerce & Industry



第4回新商品・新サービス等合同プレス発表会 7/15 開催

浜田だから。地域発信支援サービス

学生・企業・地域の人と一緒に、浜田の魅力を写真と言葉で発信する仕組み



会社概要

[事業所名] ks_production
[代表者] 佐々木 健治 氏

[事業内容] 写真撮影、広告・宣材制作
地域PR、SNS発信支援

[住所] 浜田市周布町 42-1
[TEL] 090-4655-4549



Instagram



X(旧 twitter)

おつまみ穴子

お酒のお供に最高の一品



会社概要

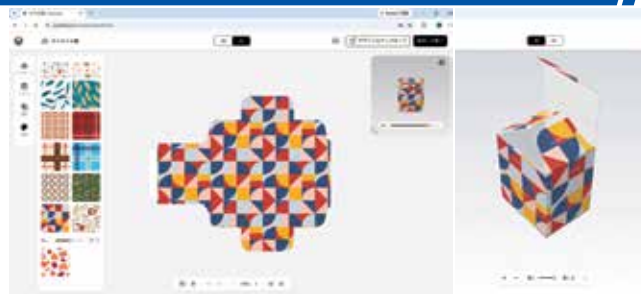
[事業所名] 村田漁村株式会社
[代表者] 代表取締役 三浦 英子 氏

[事業内容] 水産加工業 (穴子蒲焼・穴子白焼・穴子煮込)

[住所] 浜田市三隅町古市場 910-1
[TEL] 0855-32-0290

PackLabo (パクラボ)

デザインを Web 上で手軽に確認・注文できるパッケージ専門の通販サイト



会社概要

[事業所名] 柏村印刷株式会社
[代表者] 代表取締役社長 柏村 英男 氏

[事業内容] 商業印刷物全般、官公需印刷物全般
書籍・出版物・WEB、一般事務帳票類等

[住所] 浜田市相生町 3889 番地
[TEL] 0855-23-2040

ペットメディセル

やさしく筋膜へアプローチするケア



会社概要

[事業所名] トリミングサロン P i l i n a
[代表者] 竹村 浩子 氏

[事業内容] トリミングサロン
[住所] 浜州市内田町 1060-10
[TEL] 070-1876-5896

[提供場所] 同事業所もしくは、ペット整体 こうちゃん家



Instagram



HP

【8 ページに新商品・サービス発表内容 Vol. ①を掲載・Vol. ②は次号に掲載】

Table Of Contents

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1 P 新商品・新サービス等合同プレス発表会 | 5 P 青年部だより |
| 2 P 浜田市長・市議会議長要望 | 6 P 会議所月報 新入会員紹介 |
| 3 P 緊急市長要望 | 優良商工従業員表彰式のお知らせ |
| 大学を支える会総会、石央地区日韓親善協会総会 | 7 P 景況レポート |
| 4 P 石見神楽講習会・検定、「海の日」記念式典 | 8 P 新商品・新サービス等合同プレス発表会 |
| 創業セミナー、AIセミナー | |

浜田市長への 緊急要望書提出(要旨)

令和8年7月15日に浜田市役所において、石中央商工会と合同で、浜田市長へ緊急要望書を提出いたしました。

この緊急要望は、「浜田市活力あるもの・ひとつくり支援事業補助金」と「島根県飲食・商業・サービス業等エネルギーコスト削減対策緊急支援事業補助金」について、市内事業者から高い評価を得ている一方で、応募件数の増加や想定を上回る申請等により、予算的なことや補助基準に対してニーズに対応できていないとの指摘をいただいており、石中央商工会と合同で要望したものです。



▲三浦市長へ緊急要望書を提出

要望の具体的な内容は、
①「浜田市活力あるもの・ひとつくり支援事業補助金」の追加募集について
今年度は、3次募集まである予定でしたが、1次募集の段階で予算額を上回る申請があり、募集を1次で締め切り、補助金額も申請額に一律4・73%の減額調整が行われました。1次募集締め切り後も、市内事業者から多くの問い合わせや申請希望の声があったため、当補助金の追加募集(補正予算対応)を求めました。
②「島根県飲食・商業・サービス業等エネルギーコスト削減対策緊急支援事業補助金」の補助下限額に満たない場合の浜田市の単独補助制度の創設について
この補助事業については、補助下限額が20万円に設定されているため、小規模な設備更新については、申請対象とならない状況となっています。
浜田市内には小規模事

業者の割合が多く、十分な支援が届いていない状況となっているため補助下限額を設けない「浜田市版エネルギー補助金」制度の創設を求めました。

これに対して、浜田市長の回答は、
①「浜田市活力あるもの・ひとつくり支援事業補助金」の令和8年度予算の増額について検討する。

②「島根県飲食・商業・サービス業等エネルギーコスト削減対策緊急支援事業補助金」の補助下限額に満たない場合の浜田市の単独補助制度の創設については、県事業の趣旨を踏まえると、市独自の補助制度を創設し補助下限額を補完することは困難である。との回答がありました。

第34回総会開催

大学を支える会

令和8年7月22日に公立大学法人島根県立大学理事長兼学長山下氏、事務局長山口氏に来賓いただき、第34回大学を支える会総会を開催いたしました。全ての議案を承認いただいた後、山下氏に「From

Zero to Hero」地方公立大学から、日本をリードする第4世代大学へ」と題し講演を行っていただきました。



▲山下氏の講演の様子

島根県の人口は令和5年時点で65万人まで減少し、石見圏域では18万人にまで落ち込んでいます。また、県内高校生の大学等進学者の約80%が県外へ流出するという現状が示されました。こうした課題に対し、同大学は「地域貢献・教育重視型大学」を目指す第4世代大学への転換を宣言。入試改革による県内出身入学者55%以上の確保、給付型奨学金「しまね未来人財奨学金」の充実、長期実践型キャリア教育の推進、そして石見地域文化国際ラボの設置など、地域と一体となった人材育成への取り組み

が紹介されました。

また、地元大学へ進学した学生の地元就職希望率は69・4%に上る一方、県外進学者では33・4%にとどまるというデータも示され、「進学時こそが地方創生のラスト・チャンス」との力強いメッセージが印象に残りました。
大学・地域・企業が連携し、石見地域の未来を担う人材を育てていく姿勢が改めて示され当会としても、引き続き大学との連携を深め、地域の発展に向けてともに歩んでまいります。

第39回総会開催

石中央地区日韓親善協会

令和8年7月24日、第39回石中央地区日韓親善協会総会(会長 樫山陽介)が鈴蘭別館にて23名の参加者のもと、開催されました。



▲挨拶を述べる姜総領事

総会終了後には懇親会を開き、駐広島韓国総領事館より総領事姜鎬曾氏に来賓いただきました。

懇親会のご挨拶で姜総領事は、「両国は山あり谷ありの歴史を乗り越え、今では年間一千万人以上が往来するもっとも身近な国となった」と述べられました。また、若い世代の交流の重要性に触れ、「島根県立大学という地域の資源を活かし、浜田市が次世代の韓日交流の拠点となることを期待しています」と語られました。

出席者は国籍を問わず和やかに交流し、有意義なひとときとなりました。

当会としても、これまで築いてきた日韓の友好関係を大切にしながら、両国のさらなる連携の架け橋となるよう、より一層積極的に取り組んでまいります。



▲韓国からの交換留学生(島根県立大)

浜田の石見神楽

講習会・検定開催

令和8年7月4日に「浜田の石見神楽講習会」、翌週7月11日に「第14回浜田の石見神楽検定」を当所で開催しました。

講習会には26名の方が受講し、神奈川県や千葉県、兵庫県等県外の方にも受講いただきました。神楽面や衣装、舞、楽器といった多方面から石見神楽を支えている柿田兼志氏、小川徹氏の2名を講師に招き、ご話いただきました。



▲体験を交えて説明する柿田講師

神楽の歴史背景や奏楽の特徴といった座学だけでなく、石見神楽面の制作体験や実際のお面を着用したり、普段触れることのない貴重な体験をするなど石見神楽の魅力を存分に味わい理解を深める講習会となりました。



▲神楽面の説明をする小川講師

検定試験では石見神楽の歴史や演目等が出題される初級コースに8名、神楽歌や口上、記述問題等出題される上級コースに3名が受験されました。

「石見神楽を創り出したまち浜田」として当所では今後も講習会や検定を通じて石見神楽の魅力発信に努めて参ります。



▲講習会参加者と講師で記念撮影

「海の日」記念式典開催

「海の日」海洋環境連絡会21



▲表彰者と当会役員で記念撮影

中国運輸局島根運輸支局長表彰3名、第八管区海上保安本部長表彰2名、浜田海上保安部長表彰2名が表彰されました。

式典終了後には、島根県水産技術センター 沖野晃氏を講師に「島根の海について」と題して記念講演会を行いました。

その後、記念祝賀会を行い、「海の日」の理解を深めると共に表彰者への労いや参加者同士の懇親を深めました。

創業セミナー

6団体共催

令和8年7月25日、浜田市まちなか交流プラザにて、浜田市、石央商工会、島根県信用保証協会、島根県事業承継・引継ぎ支援センター、島根県よろず支援拠点、当所の6団体共催による「初級編 創業セミナー」を開催しました。

冒頭で中国運輸局島根運輸支局井上支局長より国土交通大臣式辞を代読していただき、海事関係功労者に対して感謝を述べられました。表彰式においては、初めに中国運輸局長表彰3名、



▲セミナーの様子

デジタル化・A Iセミナー開催

令和8年8月28日、ナ

レッジフォース・パートナーズ合同会社代表の藤原敬行氏を講師に迎え、「会社まわりの仕事がスピードUPする デジタル化・A I活用セミナー」を開催しました。

当日は、クラウドサービスを活用した業務の自動化・データの一元化、生成A Iによる業務効率化、社内データを活用したA I業務アプリなどについて、具体的な事例を交えて解説。

単に紙をデジタル化するだけでなく、「流れを変える」「価値を生む」というD Xの考え方について学びました。また、生成A Iを業務マニュアル作成に活用する方法や、利用する際の情報管理・正確性の確認など、実務で活用する上での注意点についても紹介されました。

参加者からは、生成A Iやクラウドツールを自社の業務改善に活用したいとの声も聞かれ、デジタル技術を身近な業務から取り入れるきっかけとなるセミナーとなりました。

SEINENBU DAYORI

[浜田商工会議所 青年部だより - 9月号 -]

事務局：〒697-0026 浜田市田町 1668

TEL.0855-22-3025

FAX.0855-22-5400

E-mail: yeg@hamada-cci.or.jp

 浜田YEG

▲例会参加者と三浦市長を囲んで記念撮影

7 月例会講演会

Action 委員会 副委員長 和田 恒太朗

令和8年7月24日(金)、浜田商工会議所において7月例会を開催しました。

今回は、浜田市長三浦大紀様を講師にお迎えし、「育ち、育てる、浜田へ」をテーマにご講演いただきました。

浜田市内の20代から40代を中心に47名が参加し、浜田市の現状や課題、市長が描く今後のビジョンや政策についてお話しいただくとともに、私たち青年経済人に期待される役割についても力強いメッセージをいただきました。

講演では、「価格競争ではなく、価値競争」「資源を編集する力」という言葉が特に印象的で、参加者一人ひとりが自社の経営にも通じる考え方として受け止めていました。また、市内高校への進学率や観光リピーター率について具体的な数値が示され、浜田市が抱える課題をより身近なものとして考える機会となりました。

参加者からは、「浜田の良いところを探してみたくなった」「まず知ることから価値が生まれると気づいた」「行政だけでも民間だけでも成り立たない。自分にできることから関わっていきたい」といった感想が寄せられ、官民が連携して浜田の未来を築いていく意識の高まりが感じられる例会となりました。

例会終了後の交流会には、浜田市役所、石央商工会青年部、浜田青年会議所、浜田ローターアクトクラブ、島根県立大学の学生など、多くの皆さまにご参加いただきました。団体の垣根を越えた交流を通じて、浜田市の未来について語り合う有意義な時間となりました。

ご参加いただいた皆さま、そしてご講演いただいた三浦市長に心より感謝申し上げます。



▲三浦市長の講演を聞き入る参加者



▲団体の垣根を越えて交流を図る参加者

会議所月報

協議事項

1. 相談役変更の承認について
中国電力ネットワーク株式会社
(浜田ネットワークセンター所長 山崎隆弘 氏
前任者: 神田光章 氏)
2. 会議所会員加入承諾について
[5月末会員数] 1,074 [6月末会員数] 1,071
[2026年4月1日現在商工業者数] 2,089
[組織率] 51.27%
加入事業所数 : 2 退会事業所数 : 5
3. 浜田市長要望について

報告事項

1. 3号議員の職務執行者の変更について
株式会社島根銀行
(支店長 勝部高彰 氏 前任者: 三代尚晃 氏)
2. 1号議員の職務執行者の変更について
株式会社中電工浜田営業所
(所長 森脇亮 氏 前任者: 五明田研 氏)
3. 第5弾プレミアム付はまだ応援チケット発行事業追加販売について

事業説明

攻めの採用活動への転換

説明者: 公益財団法人ふるさと島根定住財団 石見事務所
所長 小笠原 啓太 氏
参事 砂川 明 氏

新入会員のご案内 ご入会いただきありがとうございます(敬称略)

店舗名	代表者名	所在地	営業内容
	上野 貞美	広島市東区山根町	不動産業 / 賃貸
ビーダブリュベース BWBASE	大西 裕一	浜田市熱田町	無店舗小売業

第66回 優良商工従業員表彰式のお知らせ

日 時: 令和8年11月20日(金) 17:00 ~ 19:15
(17:00 ~ 表彰式 17:45 ~ 祝賀懇親会)

場 所: 浜田ニューキャッスルホテル

内 容: 従業員表彰式並びに祝賀懇親会

今月号の会議所だよりに詳細(申込用紙)を同封しておりますのでご確認お願いいたします。

問い合わせ 浜田商工会議所 総務課 Tel 0855-22-3025

\\ 浜田で買って 浜田で使って 浜田を元気に!! //



<ご購入場所>

浜田商工会議所または販売店にてご購入いただけます。

浜田市景況レポート 提供：日本海信用金庫

概 況

1. 雇用状況

浜田管内における月間有効求人倍率(パートを含む)は、令和8年4月が1.18倍、5月が1.14倍、6月が1.24倍で推移し、3ヶ月間(4～6月)の対前年同期比較でみると、前年の1.23倍に対し、今年は1.19倍と低下している。

令和8年6月の月間有効求人倍率、()内は令和7年6月

全 県	松江管内	出雲管内	大田管内	益田管内	浜田管内
1.39	1.48	1.33	1.13	1.36	1.24
(1.23)	(1.22)	(1.21)	(1.04)	(1.44)	(1.20)

(参考 資料出所 島根労働局職業安定)

2. 漁業水揚高状況

令和8年4月～6月の漁業水揚高は、数量が3,048t、金額が924百万円となっており、前年同期と比較し、数量が3.3%の減少、金額が43.9%の増加となっている。

また、漁業種別水揚金額の増減では、沖合底曳が16.7%の減少、巾着が150.5%の増加、いか釣は11.8%の増加等となっている。

(1) 水揚高 (t)

漁業種類	令和6年 4月～ 6月	令和7年 4月～ 6月	対前年 同期増減比 (%)	令和8年 4月～ 6月	対前年 同期増減比 (%)
沖合底曳網	419	379	▲9.5	327	▲13.7
機船巾着網	2,681	2,128	▲20.6	2,332	9.6
い か 釣	12	23	91.7	20	▲13.0
定 置 網	93	536	476.3	305	▲43.1
一 本 釣	61	51	▲16.4	42	▲17.6
そ の 他	33	12	▲63.6	8	▲33.3
陸 送	77	21	▲72.7	14	▲33.3
合 計	3,376	3,151	▲6.7	3,048	▲3.3

(2) 水揚金額 (百万円)

漁業種類	令和6年 4月～ 6月	令和7年 4月～ 6月	対前年 同期増減比 (%)	令和8年 4月～ 6月	対前年 同期増減比 (%)
沖合底曳網	315	305	▲3.2	254	▲16.7
機船巾着網	327	198	▲39.4	496	150.5
い か 釣	13	17	30.8	19	11.8
定 置 網	31	71	129.0	101	42.3
一 本 釣	33	24	▲27.3	31	29.2
そ の 他	16	8	▲50.0	10	25.0
陸 送	28	19	▲32.1	14	▲26.3
合 計	763	642	▲15.9	924	43.9

(参考 資料出所 浜田市産業経済部水産振興課)

3. 島根県信用保証協会保証承諾状況

島根県信用保証協会浜田支店における令和8年4月～6月の保証承諾は、123件の1,148百万円となっており、前年同期と比較し件数が8件の減少、金額が764百万円の減少となっている。

単位：件、百万円

店・地区	令和7年4月～6月		令和8年4月～6月		増 減	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
支店別						
浜田支店	131	1,912	123	1,148	▲8	▲764
益田支店	93	825	89	1,207	▲4	382
地区別						
浜 田 市	93	1,600	76	717	▲17	▲883
江 津 市	25	142	31	267	6	125
益 田 市	76	610	76	1,125	0	515
島根県計	735	9,546	837	10,363	102	817

(参考 資料出所 島根県信用保証協会)

4. 瓦の生産・出荷状況

石州瓦工業組合の調査によると、令和8年4月～6月の瓦の生産枚数は、1,489千枚で前年同期比26.7%の減少、出荷枚数は2,196千枚で同1.7%の増加となっている。

5. 公共工事請負契約状況

浜田地区における令和8年4月～6月の公共工事請負金額は10,077百万円となっており、前年同期と比較し124.8%の増加、益田地区は2,615百万円で同68.5%の減少となっている。

※川本地区は県央地区に、津和野地区は益田地区に含まれる

単位：百万円

地区	令和7年 4月～6月	令和8年 4月～6月	対前年 同期増減比(%)
浜田地区	4,483	10,077	124.8
益田地区 (津和野含む)	8,314	2,615	▲68.5
県央地区	3,209	3,560	10.9
島根県合計	50,133	46,259	▲7.7

(参考 資料出所 西日本建設業保証(株)島根支店)

第4回 新商品・新サービス等 合同プレス発表会 Vol.①

令和8年7月15日、浜田商工会議所3階会議室にて、第4回「新商品・新サービス等合同プレス発表会」を石央商工会との共催で開催しました。

この発表会は、地域企業の商品やサービスの認知度を高めるとともに、マスコミや消費者への直接アピールの場を提供すること、地域経済の活性化を図ることを目的としています。また、参加企業間や報道機関とのネットワーク構築、新たなビジネスチャンスの創出にもつなげていきたいと考えています。

参加要件は「発売から1年以内、または半年以内に発表予定の商品」または「創業3年以内の事業者」とし、今回は6社14名の方に発表いただきました。



▲商品・サービス体験の様子

「商品・サービス体験の様子」は、そんな課題意識から生まれたこのサービスは、広告を増やすのではなく、発信する人を増やす設計が特徴です。関わった人から自然に共感・参加の輪が広がり、採用PRや観光・定住促進にもつながる循環型の仕組みとして注目を集めました。

ks・production

令和6年創業のks・productionの佐々木代表は、写真と言葉で浜田の魅力を発信する「浜田だから。地域発信支援サービス」について発表されました。このサービスは高校生・大学生・企業・地域の人々が一緒になって浜田の魅力を発信する仕組みで、単なるPRにとどまらず、「まちに関わる人を増やす」ことを目的として、これからの地域活性化に期待が寄せられています。

サービスの内容は、写真と言葉によるコンテンツ制作、SNS投稿から展示・メディア連携までの発信導線の設計、そして学生・企業・地域の人が参加できる地域発信の場づくりの3本柱です。「浜田の魅力がないのではなく、伝わりきっていない」とそんな課題意識から生まれたこのサービスは、広告を増やすのではなく、発信する人を増やす設計が特徴です。関わった人から自然に共感・参加の輪が広がり、採用PRや観光・定住促進にもつながる循環型の仕組みとして注目を集めました。

村田漁村株式会社

サービス開始からわずか3か月で、インスタの閲覧数は約9万4千回に達し、教育委員会・市内高校との連携や山陰中央新報・市内ケーブルテレビの掲載・取材など、地域への広がりも着実に生まれています。

「地域の人が発信の当事者となり、浜田のまちな景色を変えていきたい」とPRいただきました。

昭和51年創業の村田漁村株式会社の三浦社長は、新商品の「おつまみ穴子」について発表されました。

同社は三隅町を拠点に穴子蒲焼・白焼・煮込などの水産加工業を営んでいます。浜田漁港の真穴子水揚げ量は22年統計で県内第1位・全国トップクラスを誇るにもかかわらず、全国的な知名度はまだ高くないのが現状です。経営理念である「不易流行」のもと、その課題に真摯に向き合い続けてきた同社が今回打ち出したのが、廃棄ゼロへの挑戦でした。

新商品「おつまみ穴子」は、蒲焼製造の過程でカットされた廃棄扱いとなっていた尻尾部分を有効活用して生まれました。そもそのきっかけは、従業員が持ち帰っていた尻尾部分に「美味し」との声があがったことでした。適度に乾燥させることで生まれる絶妙な歯ご

たえと、先代から受け継ぐ秘伝のタレの味付けが特徴で、お酒のお供はもちろん、お茶漬けやおにぎりの具材としても楽しめます。物価高騰による収益悪化への対応と、穴子になじみのない新たな顧客層へのアプローチという2つの課題を一度に解決した商品です。現在公式オンラインサイト等で販売中です。

今後は「一味唐辛子味」「柚子胡椒味」などバリエーション展開も予定しており、県内スーパーへの展開も視野に入れています。「浜田の穴子の魅力を全国へ届けたい」とPRいただきました。

柏村印刷株式会社

明治45年創業の柏村印刷株式会社の深山氏・佐々木氏・渡部氏は、新サービスである「PackLabo(パクラボ)」について発表されました。

このサービスは、デザインをWeb上で手軽に確認・注文できるパッケージ専門の通販サイトです。最大の特徴は、デザインを画面上で立体的な3Dモデルとしてリアルタイムに確認できるシミュレーション機能です。これにより、制作側と発注側の「イメージのズレ」を徹底的に解消し、ブランドの魅力を余すことなく製品に反映させることが可能で

す。

サービスの背景には、全国から視察が絶えない同社の卓越した技術力があり、す。キヤラメル箱、N式箱、手提げ箱など多種多様な形状に対応し、ホログラム加工や高精度のカッティング、出力時に箔やニスを施すデジタル加飾機など、業界随一の設備環境を整えています。これらにより、試

供品から本格的な販売パッケージまで、小ロットかつ短納期という現代の高度なニーズに柔軟に 대응しています。「パッケージは商品の第一印象を決める『ブランドの顔』です」と語る同社。単なる箱の提供にとどまらず、梱包の効率化や強度設計の相談にも対応し、地域の事業者の商品価値をパッケージの力で高めるパートナーを目指しています。

「パッケージの力で商品の価値を最大化し、印刷業界を共に盛り上げていきたい」とPRいただきました。

トリミングサロンPiliina

令和5年創業のトリミングサロンPiliinaの竹村代表は、新サービス「ペットメディセル」について発表されました。

ペットメディセルとは、専用機器を使用して皮膚をやさしく吸引しながら筋膜へアプローチするケアです。血液やリンパの流れをサポートし、身体を動かしや

すい状態へ導くことを目的としており、痛みが少ないため高齢犬や身体に負担をかけたくない子にも安心して取り入れられています。導入のきっかけは、現場での気づきでした。足を上げることや首を保つことがつらそうな子、保定を嫌がる子を多く見てきた竹村氏は、「嫌なだけでなく、身体がつかないのかもしれない」という小さなサインを見逃したくないという思いからこのサービスを始めました。「最期まで自分の足で歩き、ごはんを食べられる毎日を過ごしてほしい」と飼主としての切実な願いが、このサービスの根底にあります。

施術は、カウンセリング・各種チェックから始まり、必要に応じた手技によるボディケア・施術後の変化確認・自宅でのケアアドバイスまで丁寧に対応します。シニア犬や足腰が気になる子、最近元気がないと感じる子におすすめで、実際に施術を受けたお客様からも「段差を上がれなかった子が、施術後に軽やかに上がった」など嬉しい声が寄せられています。

ペット整体「こうちゃん家」にて提供中で、訪問施術やイベント出店にも対応しています。「歩ける喜びを、少しでも長く届けたい」とPRいただきました。